

本の世界が広がる IAMAS 小林昌廣教授による 大人のための ブックトーク

IAMAS（情報科学芸術大学院大学）の小林昌廣教授から、
毎回さまざまなジャンルの本を3冊、
年6回にわたってご紹介いただきます。

豊富な知識とあらゆる角度から繰り広げられるブックトークによって
未知の世界が広がり、読書の幅も広がります。

図書館司書によるおすすめ本の紹介もご紹介します。

Book Talk

入場無料
申込不要
当日先着
60名

令和6年度開催日

令和6年 5月25日(土) 8月31日(土)
9月28日(土) 11月30日(土)
令和7年 1月25日(土) 3月29日(土)

会場: 岐阜県図書館 2階 研修室

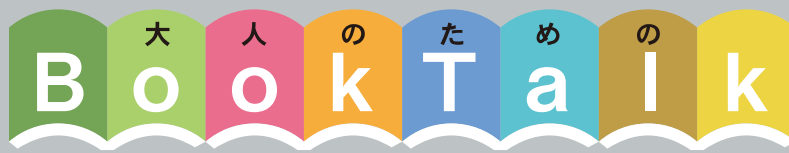
時間: 14:00から15:15(13:30開場)

講師紹介

小林昌廣氏

情報科学芸術大学院大学教授・元図書館長。大阪大学大学院医学研究科博士課程、京都造形芸術大学教授を経て、現職。専門は医療人類学、身体表現研究、表象文化論、古典芸能批評。主著に『病い論の現在形』『臨床する芸術学』など多数。各地で歌舞伎や落語に関する講座を一般向けに行っている。1匹の黒猫と暮らす。





令和5年度に紹介された本

小林教授が紹介した本

- ・『街とその不確かな壁』 村上春樹／著 新潮社（2023年）
- ・『三省堂国語辞典から消えたことば辞典』 見坊行徳 三省堂編修所／編著 三省堂（2023年発行）
- ・『十一面観音巡礼』 白洲正子／著 講談社（1992年）
- ・『動物がくれる力』 大塚敦子／著 岩波書店（2023年）
- ・『くもをさがす』 西加奈子／著 河出書房新社（2023年）
- ・『予言者 梅棹忠夫』 東谷暁／著 文藝春秋（2016年）
- ・『モダンの身体 マシン・アート・メディア』 中村嘉雄 小笠原亜衣 塚田幸光／編著 小鳥遊書房（2022年）
- ・『猫がいれば、そこが我が家』 ヤマザキマリ／著 河出書房新社（2023年）
- ・『愛するよりも愛されたい』 佐々木良／著 万葉社（2022年）
- ・『首』 北野武／著 KADOKAWA（2019年）
- ・『戦艦武蔵の最期』 渡辺清／著 朝日新聞社（1982年）
- ・『三島由紀夫論』 平野啓一郎／著 新潮社（2023年）
- ・『「自分で考える」ということ』(増補版) 澤瀉敬久(おもだかひさゆき)／著 角川書店（1981年）
- ・『言葉の流星群』 池澤夏樹／著 角川書店（2013年）
- ・『ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石』 伊集院静／著 講談社（2013年）

図書館司書が紹介した本

- ・『リボルバー』 原田マハ／著 幻冬舎（2021年）
- ・『13歳からのアート思考』 末永幸歩／著 ダイヤモンド社（2020年）
- ・『ルビンのツボ』 齋藤亜矢／著 岩波書店（2019年発行）
- ・『一汁一菜でよいという提案』 土井善晴／著 グラフィック社（2016年）
- ・『日本懐かしラジオ大全』 川野将一／著 辰巳出版（2021年）
- ・『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎／著 岩波書店（1982年）
- ・『ダッカへ帰る日』 駒村吉重／著 集英社（2003年）
- ・『ボーダー 移民と難民』 佐々涼子／著 集英社インターナショナル（2022年）
- ・『ほんとうの多様性についての話をしよう』 サンドラ・ヘフェリン／著 旬報社（2022年）
- ・『マカン・マラン』 古内一絵／著 中央公論新社（2015年）
- ・『坂木司リクエスト! 和菓子のアンソロジー』 小川一水 ほか／著 光文社（2014年）
- ・『全国旅をしてでも行きたい街の本屋さん』 G.B.（2018年）
- ・『日本古典偽書叢刊 第2巻』 千本英史／責任編集 現代思潮新社（2004年）
- ・『椿井文書』 馬部隆弘／著 中央公論新社（2020年）
- ・『追想五断章』 米澤穂信／著 集英社（2012年）

